

小・中学校でボランティア講習 八王子

小・中学校でのパソコン利用を積極的に支えようと、住民の有志がボランティアを作る動きが八王子市内で広がっている。パソコン授業を支援したり、不慣れな教師への講習に乗り出した。区市は市内全校やネットセンターを今年度中に可能にするため、各学校での取り組みの成否にも影響しそうだ。

松木小、中学校のパソコン室を充実しようと今年始まったのが「松木インターネットボランティアの会」。昨年度から教時と協力してパソコン授業を実施し、既に小では卒業アルバムなどのCDを作成した。

八王子市のパソコン講習目標は、小学校の割合が台

だが、同小にはまだパソコンが3台しか整備されていない。そのため、メンバーが主催の中古パソコンの寄付を募り、正式に整備されるまで利用する予定にした。

活動費は地元スーパーのクーポン券を保護者から集めてまかなった。秋には「バザー」を開いて資金不足を補うことにしたため、パソコンには詳しくないメンバーも加わり、人の輪が広がっている。

そのほか、多摩ニュータウンの理想地区を中心に住民向けにパソコン支援をしていふP.C.レスキュー隊も、三つの小学校で教師向けのパソコン講習会を準備中だ。

松木小の伊東学校長は

「パソコンが必須の時代に
向けて、子供たちの授業教

資金おん出のためのバザーについて話し合う
松木ネットのメンバー



えてもらっているのがある
がたい。パソコンを二つの
まっかには、学校を機に
地域のつながりがもてれ
ば」と話している。

【小津 正樹】

パソコン利用 地域で支える

たまたまTOKYO